

2 令和2年度の水質概況

令和2年度は全体としては降雨に恵まれ、原水水源の水量を確保できたため、節水となる水系はなかった。また、ダムや貯水池での藻類の増殖や降雨による原水の臭気異常等が発生したため、活性炭処理を行った浄水場があった。

1) 浄水

浄水場浄水池・供給点の全地点について、省令で定める水質基準に適合していた。

2) 工業用水

全地点について、愛知県工業用水道給水規程に定める水質基準に適合していた。

3) 原水及び浄水場原水

(1) 木曾川(木曾川・長良川)水系

入鹿池で春季に藍藻類 *Anabaena macrospora* が確認され、カビ臭物質のジェオスミンが検出されたが、浄水場原水に影響はなかった。また、夏季から秋季にかけてカビ臭物質の2-MIBが検出されたものの、原因となる藻類は確認されず、浄水場原水に影響はなかった。

愛知池で春季にろ過閉塞原因種の珪藻類 *Asterionella formosa* が増殖したが、浄水処理に問題はなかった。また春季に矢作流入地点で黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられたが、浄水場原水に影響はなかった。夏季には *Peridinium* sp. の増殖による生ぐさ臭が感じられたが、浄水場原水に影響はなかった。

(2) 矢作川水系

矢作ダムで春季に黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、浄水場で活性炭処理を実施した。

(3) 豊川水系

宇連ダムで冬季にカビ臭物質のジェオスミンが検出されたものの、原因となる藻類は確認されず、浄水場原水に影響はなかった。

駒場池で春季及び秋季に黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、浄水場で活性炭処理を実施した。夏季には原因となる藻類は確認されなかったものの、カビ臭物質の2-MIBが検出されたため、浄水場で活性炭処理を実施した。

三ツ口池で春季、秋季及び冬季に黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、冬季には浄水場で活性炭処理を実施した。夏季及び秋季にカビ臭物質のジェオスミン及び2-MIBが検出されたものの、原因となる藻類は確認されず、浄水場原水に影響はな

かった。

万場調整池で春季に黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、秋季には原因となる藻類は確認されなかったが生ぐさ臭が感じられた。いずれも浄水場原水に影響はなかった。また、夏季から秋季にかけては藍藻類の *Anabaena* sp. が確認され、カビ臭物質のジェオスミンが検出されたため、浄水場で活性炭処理を実施した。冬季には藍藻類の *Anabaena mucosa* が確認され、カビ臭物質のジェオスミンが検出されたが、浄水場原水に影響はなかった。秋季にはろ過閉塞原因種の珪藻類 *Aulacoseira granulata* が増殖したが、浄水処理に問題はなかった。

4) 放射性物質検査

全地点で放射性物質は検出されなかった。